

## 令和 7 年度 ニシン漁獲物調査速報 (7) : 厚田地区

1~3月に実施しているニシン漁獲物の生物測定調査結果の速報を随時お知らせしています。

令和 7 年 3 月 18 日に石狩湾漁協厚田地区で水揚げされたニシンの漁獲物調査を実施しましたので、結果をお知らせします。石狩湾漁協厚田支所の皆様、ご協力ありがとうございました。他の業務が輻輳したため、速報の発表が遅くなってしまいました。

### 【結果】

#### 1. 標本の採取状況

当日は、メス(加工向け 8kg 入)、オス大、オス大中の 3 銘柄が漁獲の主体で、これらから標本を入手し、生物測定を行いました。

#### 2. 銘柄「メス」の結果

銘柄「メス」の標本 60 尾中、不透明の濁ったオレンジ色の未熟な卵巣(熟度 22)の個体は皆無でした。完熟に近いが卵粒の透明感に欠け完熟少し前といった個体(熟度 30)は 5 尾(8.3%)で、卵粒が透明化し、腹部を圧迫すれば容易に卵が総排出腔から出てくるような完熟個体(熟度 40)は 55 尾(91.7%)でした。平均卵巣重量(最小~最大)は、62.1 g(34.2~86.5 g)でした。尾叉長 27~28 cm 台の個体が多く(図 1)、体重 360~449 g が中心となっていました(図 2)。

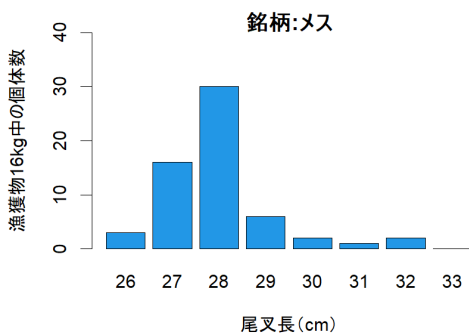


図 1 銘柄「メス」の尾叉長組成 (cm)

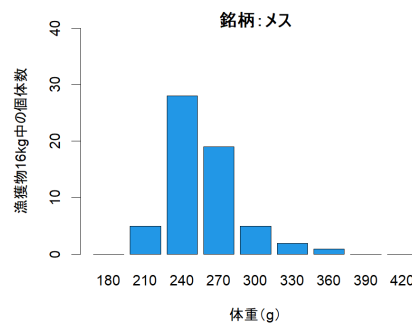


図 2 銘柄「メス」の体重 (g)

#### 3. 銘柄「オス大」の結果

銘柄「オス大」の標本 58 尾すべてが成熟しており、かつ放精前の個体(熟度 20)が 51 尾(87.9%)、放精中の個体(熟度 30)が 7 尾(12.1%)でした。尾叉長 27~30 cm 台の個体が多く(図 3)、体重 240~299 g が中心となっていました(図 4)。

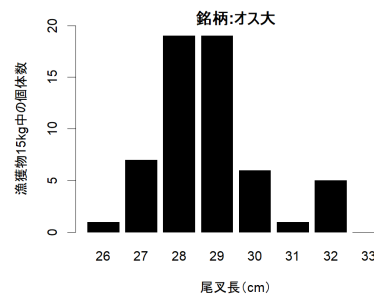


図 3 銘柄「オス大」の尾叉長組成 (cm)

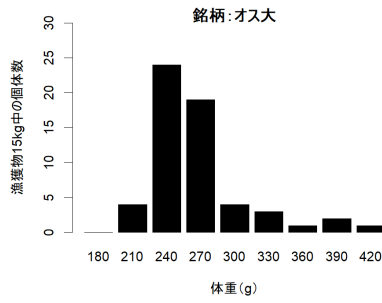


図4 銘柄「オス大」の体重組成 (g)

で、この時期に石狩湾周辺に来遊するニシンで群の脊椎骨数の平均値が 54.0~54.3 の場合は、北海道-サハリン系主体の群であると判断できることから、この標本の群は北海道-サハリン系主体であると判断されました。

### 5. 銘柄「オス大中」の結果

銘柄「オス大中」の標本 59 尾すべてが成熟し、かつ放精前の個体（熟度 20）が 53 尾（89.8%）、放精中の個体（熟度 30）が 5 尾（8.5%）、すでに放精を終えた個体（熟度 40）が 1 尾（1.7%）でした。尾叉長 28~31 cm 台の個体が多く（図5）、体重 210~329 g が中心となっていました（図6）。

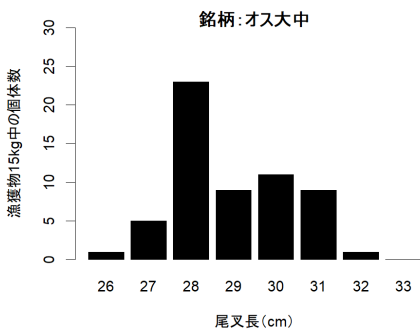


図5 銘柄「オス大中」の尾叉長組成 (cm)

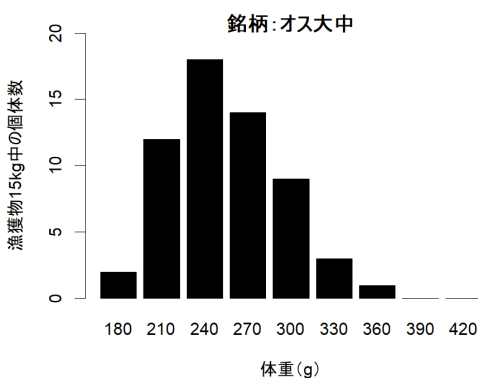


図6 銘柄「オス大中」の体重組成 (g)

### 6. 脊椎骨数について

本標本については、すでに脊椎骨数の計数を終えました。標本全体の脊椎骨数の平均値は 54.24